

地図 1		東京書籍株式会社 (2東書)
特に優れている点	1 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【基礎】地形の仕組みや地図帳の使い方などの基本情報が読みやすく、基礎・基本となる地域や技能の習得に適している。(P9,P10) ○【国際】世界文化遺産や特産物、祭りや伝統文化などを日本地図で概観でき、自国の歴史や文化を理解、尊重することができる。(P71,P72) ○【防災】防災のページは、日本の自然災害のページを設定し、防災教育につながる学習ができる。(P90,P91)
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の気候や農業・水産業・工業、歴史と文化などの紹介ページは、分布やグラフの読み取りがしやすい。(P63~P72) ○海の深さや標高が見やすい。(P5・P6) ○「むかしの国名がついている食べ物」は地図と歴史を関連付ける資料として優れている。(P71)
	3 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○A4版という大きさなので、一つ一つの資料や写真が大きく、カラーも多くて見やすい。 ○文章の記述が文節で改行されていて、読みやすい。 ○文字の大きさや行間が適切で読みやすい。 ○紙質は反射しないので、見やすい。
	4 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書で学習する単元や内容に即した構成である。 ○北方領土から西南諸島までを一望する日本列島の地図が3か所あり、列島や海底地形が実感できる構成である。(P3,P6,P18) ○縮尺の学習資料が、子どもの興味・関心を高めやすい。(P10,P18)
	5 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○地図さくいんのチェック欄や、マイインデックスが工夫されている。(P79) ○国の特徴を表すのに、写真ではなくイラストで大きく描かれているのは、子どもにとっては親しみがもてる。 ○オリンピックやワールドカップの取り扱いがされているので、世界の国々に関心をもちやすい。(P77)
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【言語】100万分の1地図に、地名や地形の情報量が少なく、土地利用別に色分けされていない。(P27など) ○【言語】地図の使い方が巻頭に載っていない。(P9~P12) ○【国際】領土についての記述が少ない。(P7,P13) ○【郷土】首都東京を中心にした記述が多く、大阪の子どもたちにとっては身近に感じにくい。(P45など)
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○地図以外にイラストや写真やコメントは多いが、高学年にとって「読みとる」内容が少ない。 ○世界や多文化に関する資料が少ない。 ○日本からの航路などが描かれていないので、距離感がとらえにくい。
	3 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○A4版の大きさは、児童机やランドセル、道具箱の大きさに比べて扱いづらい。 ○色の薄さや字体、空白やイラストが多く地図としての情報が少ない。
	4 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○貿易のページ(P69,P70)の資料は、輸出入のバランスを比較しやすいが、世界全体をとらえにくい。
	5 資料	

地図 2

株式会社 帝国書院 (46帝国)

特に優れている点	1 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【思考】50万分の1地図にも100万分の1地図にも、標高別だけでなく、土地利用別の色分けがされており、資料活用能力や思考力を育てることができる。(P27など) ○【国際】我が国の位置と領土、周囲の国の位置と大きさ、領土・領海について見開きで明記されており、国際理解などグローバルな視点が養える。(P11,P12) ○【郷土】地図の使い方の説明に大阪府を取り上げて説明しているので、郷土大阪への愛着を育てながら、基礎的な技能が習得できる。(P7~P10) ○【防災】防災マップづくりという学習活動のページがあり、防災教育の推進や、安全・安心な社会づくりにつながる内容である。(P83) ○【基礎】3年生の絵地図の学習の発展として地図の成り立ちや約束事を説明しており、基礎・基本となる知識・技能を養える。(P5~P6) ○【言語】吹き出しの問いかけが、多面的な考察や資料活用の意欲をうながす内容の記述になっていて、自ら学び自ら考えて課題を解決する学習が進められる。
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○100万分の1地図にも、市町村、川や山、道路、主な産物などが豊富に載っている。(P27など) ○世界地図に日本からの航路や同緯度・同縮尺の日本が描かれていて、日本とのつながり、距離感、広さの比較をとらえることができる。(P53~P56) ○時代を通した年表とそれと対比した地図があって、歴史全般をとらえることができる。(P69,P70) ○沖縄県の位置関係や、南西諸島や台湾と、大阪や東京からの距離がとらえることができる。(P13~P15) ○日本の産業の様子の記載は情報量が豊富である。(P67,P68) ○自然の様子や気温の様子の模式図がわかりやすい。(P65,P66)
	3 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○色や印刷が鮮明である。 ○表紙に地図学習の要素がある。 ○軽くて丈夫である。
	4 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○県庁所在地、食料生産と工業生産、歴史年表など社会科の教科書単元に即した構成である。 ○地図の見方を習得させるための活動の手助けとなる記述がある。(P8,P9,P10) ○日本とそのまわりについては、必要な情報にしぼって、見開きで構成されている。(P11,P12)
	5 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の地図には、ページごとに各国の国旗が掲載されている。 ○地名や地形でフォントや字の大きさをかえている。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【伝統】歴史や伝統文化について、地図に組み込まれており、単独のページ割をしていない。
	2 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや表の文字が小さい。
	3 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○光沢のある紙質のため、光が反射することがある。 ○1つ1つの資料が小さい。
	4 構成 配列	
	5 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○輸出入のページは、輸入と輸出を分けて二つの図表にしたため、子どもの発達段階に合っていてよいが、図版が小さい。(P71)